

令和8年2月

人権一口講座



「第62回全国隣保館職員九州ブロック研修会」に参加して

11月20日・21日、佐賀県で開催された「第62回全国隣保館職員九州ブロック研修会」に参加しました。本研修会は、各施設が「地域共生社会」の拠点施設として、地域に根ざし人に寄り添う第一線機関の役割を果たし、さらなる発展を目指して開催されたものです。

一日目は、「多文化って、むずかしい？おもしろい？まちで育てる共生力」と題した記念講演が行われました。佐賀県でも「地域の生活者」として暮らす外国人住民が年々増加しており、それに伴い様々な変化や課題が生じています。講演では、私たちにできることとして、まず自分の地域を知ること、地域に住む外国人への理解を深めること、挨拶から接点をつくることなどが挙げられました。さらに、「違い」を感じても、すぐに○か×かで判断せず、行動や発言の背景を想像する心の余裕を持つことの大切さが語られました。

二日目は、実践報告として熊本市ふれあい文化センターの取り組みを発表しました。昨年度、館長が自身で考えた替歌「ふれあい旅情」を披露する予定でしたが、熊本県内から参加された方々が前もって練習し、一緒に歌ってくださいました。熊本県の団結力を改めて心強く感じ、あわせて、今後も県内施設と情報交換などを通して連携を深め、ふれあい文化センターの活動に活かしていきたいという思いを強めることができました。

